

Libpedia —よくわかる用語解説— 2

検索のときに目にする基本的な用語

前号より始めました“Libpedia”。書名や雑誌の特集名でよく目にするいろいろな分野の言葉を解説し、困ったときの“図書館員のための単語帳”を目指していきます。

第二回目は“検索のときに目にする基本的な用語”です。

【MeSH (Medical Subject Headings)】

医学件名標目表のこと。アメリカの国立医学図書館が編集刊行する医学関係のシソーラス。医学文献データベースのPubMedに付与され、毎年改訂されている。MeSHの仕組みや個々の意味を理解することで図書館員が文献の検索結果を評価できる。

【シソーラス (thesaurus)】

コンピュータでの情報検索の際、ディスクリプタを明示し、さらにその体系と構造を一覧表示したものの。検索効率の向上を図ることを目的とする。ギリシア語で辞書、百科事典のような意味をもつ。

【ディスクリプタ (descriptor)】

わたしたちが日常使っている言葉や、文献中に用いられている用語をそのままコンピュータでの情報検索に用いるために一定の統制を加えた上で、検索のキーワードとして採用された用語。

【OPAC (Online Public Access Catalog)】

図書館の蔵書検索システムのこと。図書館の膨大な蔵書の中から目的の資料を見つけ出すために、図書館のデータベースにあるMARCを利用して、利用者が直接端末機からオンラインで図書館の蔵書データベースを検索することができるようにした目録システム。

【MARC (Machine Readable Catalog (Cataloging))】

機械可読目録のこと。図書館資料の書名、著者名、出版事項、件名など目録記入に記載される書誌情報をコンピュータで処理可能な形に記録したもの、または記録すること。国ごとにJAPAN/MARC (日本) LC MARC (アメリカ) など固有のMARCが存在する。

(文責：佐藤道子／兵庫県立光風病院)

